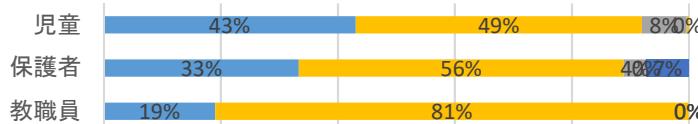


令和4年度 後期 学校評価アンケート結果

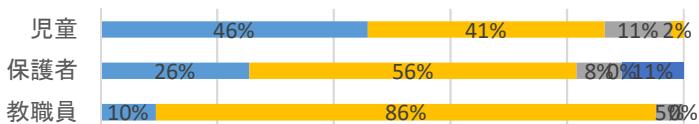
令和5年1月16日
京都市立西野小学校
校長 佐野 丈夫

令和4年度の後期学校評価の結果と考察をお知らせいたします。保護者の皆様には、Microsoft Forms による学校評価へのご協力、誠にありがとうございました。本紙では、児童・保護者・教職員を対象に行った同じ質問項目の結果を並べて、その結果と考察をお知らせいたします。なお、グラフの割合は左から「よくできている」、「だいたいできている」、「あまりできていない」、「できていない」、「わからない」としています。

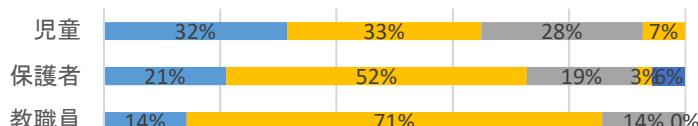
1 授業中、めあてに向かって進んで学習している



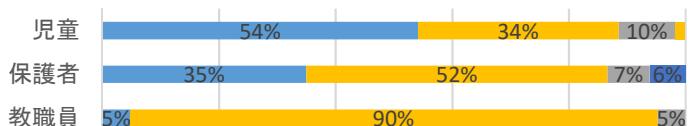
2 授業中、自分の考えをもてている



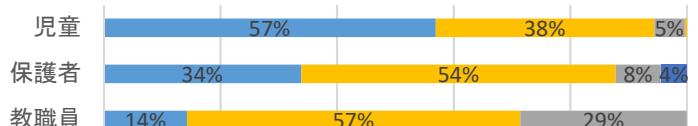
3 思ったことや考えたことを発表できている



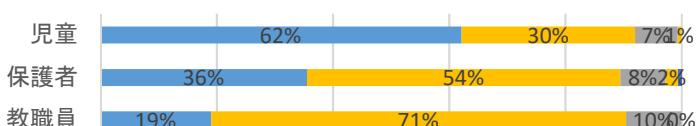
4 授業がわかり、楽しく学習している



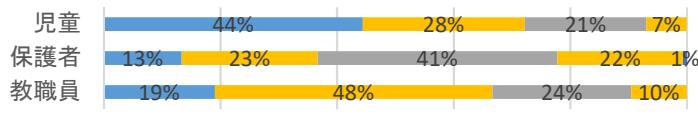
5 先生や友だちの意見をしっかり聞くことができている



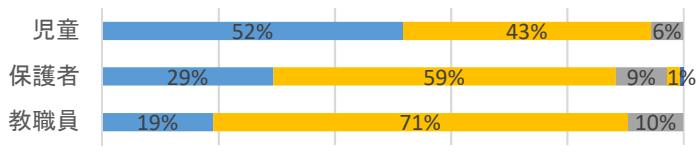
6 家で宿題や勉強をしている



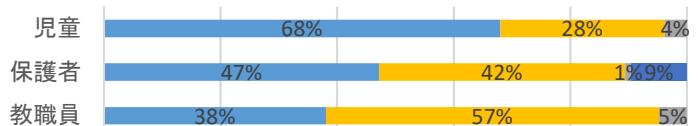
7 (保)家で本を読んでいる (児・教)学校で本を読んでいる



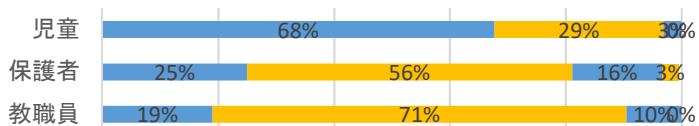
8 約束やルール、マナーを守っている



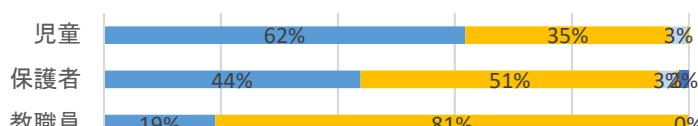
9 そうじや給食などの当番活動を進んでしている



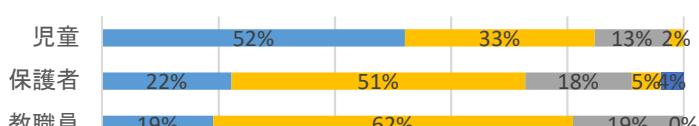
10 物を大切にしている



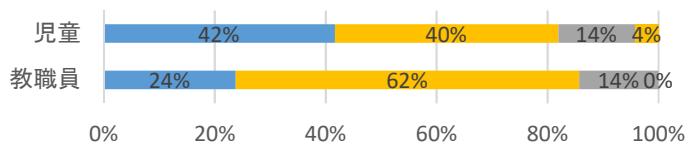
11 友だちを傷つけることなく、大切にしている



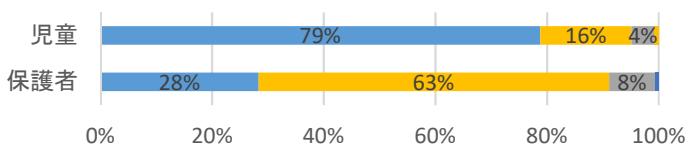
12 自分からあいさつをしている



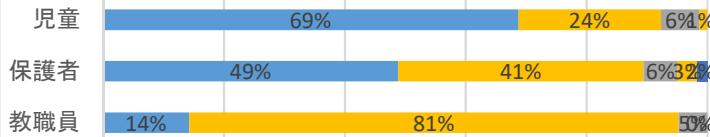
13 (児)学校で先生と話している (教)子どもと話をする時間もっている



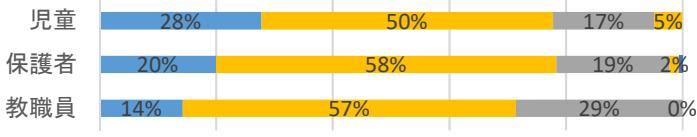
14 (児)家の人と話している (保)子どもと話をする時間もっている



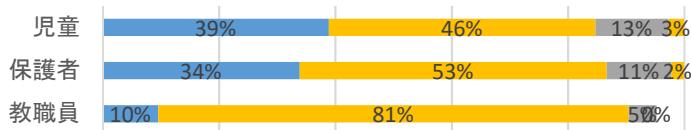
15 (児・教)学校で楽しく過ごしている
(保)子どもは、学校が楽しいと言っている



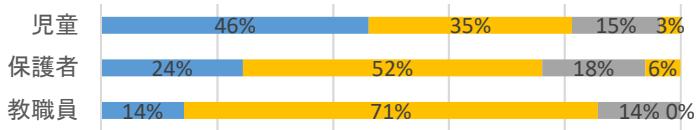
16 忘れ物をしていない



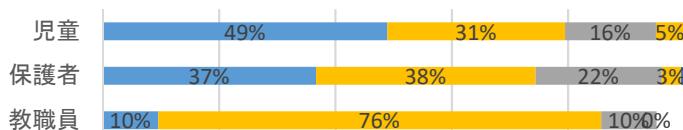
17 健康に気をつけている



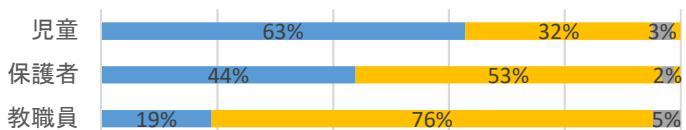
18 好き嫌いせずに食べている



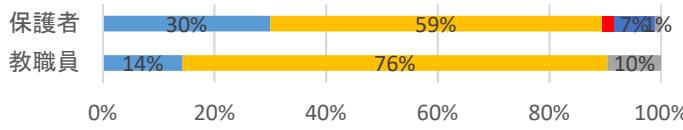
19 進んで運動をしている



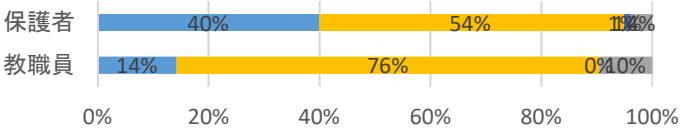
20 安全に気をつけて過ごしている



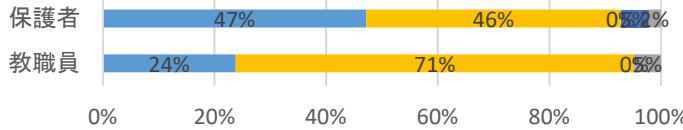
21 学校・家庭・地域が連携して子どもを育んでいる。



22 学校は、学級・学校だよりやホームページで学校の様子を伝えている。



23 (保)教職員は気軽に質問や相談がしやすい
(教)保護者が気軽に質問や相談がしやすいように関係づくりをしている



保護者自由記述欄より

- ①西野小は縦割り活動が活発で、児童同士の関係がとてもいいと感じています。今後も年間を通しての縦割り活動時間を継続して頂きたいです。
→月に1度のなかよしタイムでは、1～6年生がグループになり、6年生がとりまとめてみんなが楽しめる遊びをしています。また、今年の6年生は給食補助や掃除補助、休み時間と一緒に遊ぶなど1年生との交流を自主的にしてくれています。とてもいい姿です。
- ②子どもが一番のびのびと楽な方法で学校での先生とのコミュニケーション、友達とのコミュニケーションを図っていき、良好に生活を送ってもらいたいと考えています。
→コミュニケーション力は学校・家庭・社会などあらゆる場面において、円滑・良好な人間関係を構築するために最も大切な力と考えます。自分と周りの人にとってより良いコミュニケーションのとり方を今後も学校生活の中で学んでいってほしいです。
- ③学校での様子をもう少し写真などで見られると嬉しい。
→各学級・学年の様子が分かるよう今後もホームページへのアップを続けていきます。

結果の分析

以下の分析に関しまして、便宜上「よくできている」をA評価、「だいたいできている」をB評価、「あまりできていない」をC評価、「できていない」をD評価として記述いたします。

3者比較で児童と保護者・教職員の結果で最もA評価の割合が大きいのが設問10「物を大切にしている」かを問う設問です。児童は7割がA評価であるのに対して、保護者・教職員のA評価は約2割です。学校では無記名の落とし物が多く、持ち主も現れないことがあります。みんなで使うもの(例えばボールやほうきなど)の扱い方も気になります。児童は「できている」と感じているところでも、もっとよりよくできることを大人が伝えていく必要がありそうです。

設問11「友だちを傷つけることなく、大切にしている」かという設問ですが、保護者・教職員のA評価が5割もありません。大人から見ると、子どもの何気ない一言や行動が友だちを傷つけてしまっていることに気づかずに入っているように感じることがあるのでしょうか。学校でも「言った人、した人は覚えていないが、言われた人、された人はずっと覚えている」ということがしばしばあります。相手の気持ちを想像できる力をこれからの中でも培っていきたいです。

設問15「学校で楽しく過ごしているか」と問う設問ですが、一定の割合でC、D評価がつけられています。児童にとって楽しくない原因を取り除き、全ての児童が「学校が楽しい！」と感じられる学校運営をしていきたいです。そのためには、全教職員が児童一人一人の心の機微を捉えられるよう日々接していく必要があります。

コロナ禍はいつまで続くのかわかりません。現時点でも未だ制限されることもなく、引き続きできることをするしかありません。しかし、スポーツフェスタは全学年が集う形式で開催できましたし、たてわり活動も再開しています。学校では、今後もまずは各学級・学年の毎日の学校生活を充実させることを大切にしていきます。また、ご家庭では、お子たちと一緒に過ごす時間や会話の時間をもち、家族の絆を深めるなどしていただきたいです。

今回の学校評価アンケートの回答率は56.6%でした。今後もFormsを使ったアンケートを継続していく予定ですので、保護者の皆様には是非ご協力いただき、お声を学校に届けてくださいますようよろしくお願ひいたします。